

◆ロータリーミニ情報(6)

会員の種類

ロータリーの会員には次の四種類があります。

- (1) 正会員。(アディショナル正会員をふくむ。)
- (2) シニヤ・アクティブ会員
- (3) パスト・サービス会員
- (4) 名誉会員

(1)正会員。正会員、シニヤ・アクティブ会員、パスト・サービス会員により推薦され、理事会によって確認されたもの。その資格は、それぞれの職業分類のもとに、指導的な立場(事業主、役員、幹部社員)にあるもので、所属クラブの区域内に、事業所があるか、居住していること、となっています。(つづく)

(ロータリー情報委員会 椎谷 龍彦 委員長)

◎ 出席報告

| | | | | |
|--------|-----|-------------|-------------|--------|
| 会 員 数 | 61名 | 出 席 率 | 函 館 北 1月24日 | 84.75 |
| 出 席 | 38名 | | 函 館 東 1月23日 | 86.11 |
| 欠 席 | 23名 | | 函 館 1月18日 | 89.92 |
| 他クラブ出席 | 12名 | | 函館五稜郭 1月19日 | 100.00 |
| 出席合計 | 50名 | | 函館亀田 1月22日 | 91.31 |
| 除 外 者 | 2名 | | | |

次回・2月14日
プログラム

「クラブアッセンブリー兼夜間例会」

6時30分 一乃松

例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 例会場：函館国際ホテル
事務所：函館市大手町5-10 日魯ビル3F TEL (0138) 23-3870

第251地区 第11分区



1989~1990

The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

ヒューM. アーチャー 国際ロータリー会長テーマ

ENJOY ROTARY!

ロータリーを楽しもう!



トラピスチヌ

椎谷 龍彦 会員

《第1288回例会》 第31号 2月14日(水)

本日のプログラム

クラブアッセンブリー兼夜間例会

6時30分 一乃松

★会 長 松橋 博

★幹 事 西尾 昌一

1989~1990

〈第1287回例会〉第30号

2月7日の記録

- 司会 松橋 博 会長 ●斉唱 君が代・奉仕の理想
- ピジター 札幌真駒内R.C. 松永勝男 君 函館R.C. 岡本勝利 君他3名
 函館東R.C. 高野省三 君 五稜郭R.C. 佐藤 博 君他4名
 亀田R.C. 石塚与喜雄 君

★誕生日 大和会員(1日)・西尾会員(14日)・加藤会員(18日)・佐藤会員
 (25日)・金沢会員(26日)・寺西会員(28日)

★結婚祝 立花会員(11日)

●会長報告 松橋 博 会員

- 交換学生の歓迎会が江差R.C.主催で2月24日15時30分よりホテルニューエサシ
 に於て開催されます。ホストクラブより会長・幹事・国際奉仕委員長及び交換
 学生委員長の出席されたい旨の案内が来ております。
- 当クラブ遠藤会員の入院見舞に先週会長・幹事で行って参りました。肝臓の方
 が悪いとのことですが元気でありました。

●委員会報告 立花 明男 社会奉仕委員長

- 昨年に引き続き第2回美術品チャリティ即売会を2月23日(金)より28日(木)まで函
 館西武6階のシーズンホールで開催致します。今年度はデイスカント方式で行い
 ます。会員の皆様の会場へのお出で及びお買上の程お願い致します。

●幹事報告 西尾 昌一 幹事

- 次週(14日)は夜間例会、場所は一乃松です。また2月21日の例会は23日の5
 時45分より分区の合同例会として当国際ホテルで開かれます。お間違いのない

ようお願い致します。又多数の御参加をお願い致します。

- 尚他クラブの例会 19日亀田、22日函館、23日五稜郭、27日東R.C.は合同例会
 の為変更になっております。

●親睦委員会 吉行 信幸 副委員長

ニコニコBOX投入報告

新谷 会員……欠席がち申訳ありません。

山本 会員……月初めです。

南木 会員……立花会員がニコッと笑ったので。

立花 会員……結婚月です。

松見 会員……立花さんがいたので。

中里 会員……二人でいたので。

小笠原会員……BOXに協力。

石上 会員……月初めにつきBOXに協力。

陳 会員……北国の春の訪れが近くなる事をうれしく想いて。

●会員卓話 "異国に生きて五十年"

— 日本と中国の狭間に呻吟して — 陳 有葉 会員

私が物心ついた頃は函館の旭町という貧しい町の裏長屋の一角に住んでいた。
 この狭いボロ屋に私達家族五人と中国から来た商人達と総勢十人程の人達が所狭
 しとひしめいていた。私の親父は此の頃は自分の身長より大きい荷物を背中に負
 い呉服反物の行商をしていた。主に森町を中心とする噴火湾一帯の漁師や農家の
 人達を相手にしていた。この頃から幼いながらも自分は何かしら周囲とは異質な
 存在では無いか?とうすうす感じていた。何故なら母は古い中国の伝統に従い
 (現代は無し)子供の頃より両足に布を巻きつけられ身体は成長しても足は小さ
 くあたかも芋の様な不格好な形をしていた。又日本語が話せないため私に向っ
 ていつも中国の原地語で話しをするのである。ですから友達が遊びに来ていつも

恥かしい思いをし又街を母と歩いていて、何時も周囲の人達の物珍らしそうな視線や侮蔑の眼差しを感じていた。時にはわざと私達に聞える様にあれば「支那人だ」「支那人」だと馬鹿にした様な声が耳に入ることもしばしばであった。毎日毎日屈辱と悲哀の中に生活しなければならない幼い頃の日々でした。子供心に父や母を恨み呪いつづける毎日でした。

しかしこれらの幼い頃受けた屈辱や悲しみは逆に私に耐えることを教え同時に強きものへ対して激しく反抗する強い精神を与えて呉れ、私の人生の後後迄大きな影を落した様な気が致します。間もなく私も大森小学校へ入学致しましたが此の頃から日本は次第に暗い時代に突入し遂に第二次世界大戦が始まりました。日本と中国は敵国となり私も学校へ行っても支那人だ外人だ、或いは敵のスパイだと云われ嘲笑や侮蔑の言葉を浴びせられ仲間外れにされ常に孤独の毎日でした。今で云う「いじめ、だったと思います。それでも登校拒否等はせず耐えに耐えた毎日でした。でも家に帰って来ては一人で家の片隅で人知れず泣いていました。これらの侮辱と誹謗はその後もやむこと無くずっと続けられました。これらの精神的苦痛に加え経済的貧困は更に大なる苦痛でした。食べる物、着る物、履く物も無く正に赤貧洗うが如き貧しい毎日でした。勿論物質的貧困は外人だけで無く当時の日本人全体の問題では有りましたが……米の御飯を食べた記憶は殆んど有りませんでした。来る日も来る日も芋とかぼちゃの毎日でした。月に一度のおかゆと云っても米粒は数えるしか無く殆んど芋でした。特に苦痛だったのは履く靴が無く、冬の寒い朝、雪の中を学校へ行くのは大変でした。足袋に下駄履きでしたので一歩あるく度に下駄の底に雪がこびりつき、その度にこの雪を落さねばならず悪戦苦闘しながら長時間かけて学校へ辿りつく有様でした。校内へ入ってからも上履も無く、いつも裸足で歩かねばなりません。凍りつく廊下に足は冷たくしばれ上り赤く腫張し、あたかも凍傷した様になってしまいました。トイレも小便でベタベタに汚れて居りその中を裸足で歩くのがとても気持悪く爪先で恐る恐る歩いたこと等今思い出してもぞっと致します。此の頃一月に一度撥靴と称された短靴の配給が一クラスに1～2足有りました。みんなが欲しがると

にジャンケンやくじ引きで割当てを決めました。私も当然これらの仲間に入れると最初思って居りましたが担任の先生にお前は外国人で有るから除外すると云われ、大なる悲哀と失望を感じました。仲間達が喜々としてジャンケンしたり、くじを引いたりするのをいつも遠くから虚ろな淋しい気持で眺めていたのを今でも鮮烈に憶えて居ります。この時程外人である自分を淋しく悲しく思ったことは有りませんでした。この時の悔しさは永遠に忘れることは出来ないと思います。現在私の家の下駄箱は四つ程有りますがその中に子供達の靴が古いのやら新しいのやら所狭しと並んでいるのを見るにつけ、余りの落差の大きさに話す言葉も無く只々溜息をついて胸を痛めて居ります。此の頃の私の少年時代の厭な思い出に特高警察が有ります。特高と云う恐ろしい人間達は私達の家をあたかもスパイだと云わんばかりに四六時中監視して居りました。私の家に入り出る人間を鋭い眼差しでチェックしたり時には身体検査等を行いました。その他月に一度位は家宅捜査を行い大声を上げながら家中を隅から隅までかき回してゆきます。私達家族は只息を殺し怯えながら遠くからじっと見ているだけでした。母等は五十年近く過ぎた今でも当時の恐しさを思い出しては話して居ります。間もなく函館も空襲が烈しくなりB29やグラマン等が函館上空に飛来し戦火が烈しくなり身の危険を感じて私達家族は着のみ着のままで知人を頼りに森町の片田舎に疎開することになりました。オンボロの鈍行列車は足のふみ場も無い道混雑し約三時間の旅は立ち放しの状態でした。森駅に着いて更に一時間程歩いて漸く西川さんという農家の家に辿り着きました。それは暑い夏の昼下りの午後でした。流れる汗をふいた頃やっと心地ついた様な感じが致しました。私達一家は此の家の離れの六畳間を借り受けることになり五人のごこ寝生活が始まりました。田舎の人達はこの西川さん一家を始め皆さんとても親切で優しく何か安住の地を得た様な安らかな気持を得ることが出来ました。そこには外人に対する差別や侮蔑の眼差しは全く感じられませんでした。山へ登ったり海で泳いだり川で遊んだり美しい大自然の中で始めて豊かな人間らしい生活が出来た様な気が致しました。四十年過ぎた今でも懐しさの余り時折りこの地を訪れ幼き日の思い出に浸って居ります……が、

その頃お世話になった多くの善人達は殆んど他界されて居り仏前に手を合せて感謝の気持を表して来て居ります。間も無く戦争も終り私達一家は再び函館に戻り東雲町に居を構えました。中国は戦勝国となり私達中国人はGHQの保護のもと数々の特権を受けることが出来る様になり、又私の親父も大門に店を持つことが出来る様になり次第に生活も楽になる様になりました。その後田中角栄氏等の努力により日中平和条約等が締結され中国と日本は良き友人として手を結び仲良く出来る様になり大変感謝致して居ります。過去の暗い歴史を知っている私達にとり平和で有ること程うれしい事はありません。

私もこの函館の地に於て素晴らしい良き日本の友人を得ることが出来ました。これからも私達は共に手を携え力を合せ日本と中国の平和と友好の為に頑張ってゆきたいと思ひます。時計の針を逆戻りさせる事は許されません。世界が今一つとなり新しい民主化の波に向って進んで居ることを大変うれしく思ひて居ります。残された子供達にも平和の尊さ素晴らしさを何時までも語り継いでゆきたいと思ひて居ります。多くの日本の友人に感謝して。平成2年2月立春を過ぎて。国際月間を祝して。

◎ 出席報告

| | | | | |
|--------|-----|-------------|-------------|--------|
| 会 員 数 | 61名 | | 函 館 北 1月31日 | 84.75 |
| 出 席 | 37名 | 出 席 率 | 函 館 東 1月30日 | 88.57 |
| 欠 席 | 24名 | | 函 館 1月25日 | 90.00 |
| 他クラブ出席 | 13名 | | 函館五稜郭 1月26日 | 100.00 |
| 出席合計 | 50名 | | 函館亀田 1月29日 | 85.11 |
| 除 外 者 | 2名 | | | |

次回・2月23日
プログラム

「第10、11分区合同例会」

R.I.創立85周年にちなんで

17時45分 国際ホテル

例会日：毎週水曜日 12:30～13:30 例会場：函館 国際ホテル
事務所：函館市大手町5-10 日魯ビル3F TEL (0138) 23-3870

第251地区 第11分区



1989～1990

The Weekly Report of

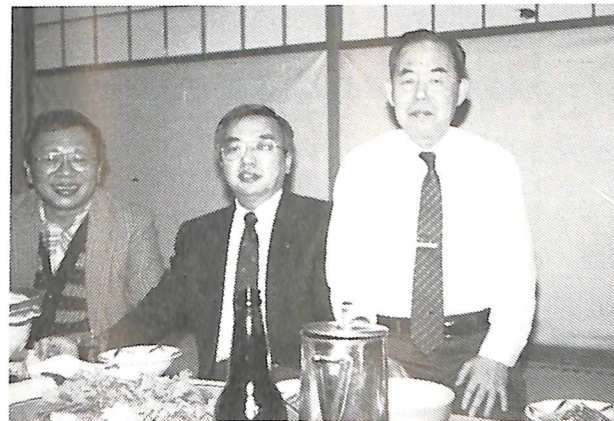
Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

ヒューM. アーチャー 国際ロータリー会長テーマ

ENJOY ROTARY!

ロータリーを楽しもう!



2月14日 一乃松の夜間例会

《第1289回例会》 第32号 2月23日(金)

本日のプログラム

「第10、11分区合同例会」

R.I.創立85周年にちなんで

★会 長 松橋 博 ★幹 事 西尾 昌一